

古川なおき 第115号 レポート



自由民主党横浜市議員 古川なおきの政務調査報告

一月刊一 2013年2月7日

ポジティブ横浜！

節分が過ぎ、新年を迎えて一ヶ月が経ちました。自民党も政権に復帰し、安倍内閣も今のところ経済政策が評価され、円安、株高となり、上々のスタートとなりました。大型補正予算に続き、新年度予算も日本の山積する課題を吹き飛ばす勢いを感じます。安倍内閣を中心的に支えている菅官房長官は横浜市議員の先輩でもあり、都市政策に精通されている方なので、この政権で相鉄とJR・東急との接続、中山駅から二俣川駅への横浜環状鉄道、二俣川駅再開発や鴨居上飯田線などのインフラ整備を一気に進めることができると思います。

さて、2月から3月は、横浜市の新年度の予算審査をする時期となります。厳しい財政状況に変わりはなく、さらに行政業務の無駄を省かなくてはなりません。一方、今回の政府の経済政策のように、前向きに将来に希望を持って政策立案することも大切だと思います。行政に厳しく接することはチェック機関である議会としては当たり前のことですが、私は横浜市職員の能力を最大限に発揮させる環境を整えることでも市民サービスは向上し、税金のコストパフォーマンスは上がるように思います。予算を削減することばかり考えているとマイナスの発想に陥り、発展するチャンスを失いかねません。選択と集中が必要です。横浜市は、人口が間もなく370万人を突破することや市民活動が活発なこと、羽田空港や横浜港、横浜駅、高速道路網など、他の都市に比べれば恵まれています。今年はずっとポジティブな発想で行動したいと思います。

新年度で私が注目している政策は、ズーラシアの「アフリカのサバンナ」のオープン、市民参加型横浜フルマラソンの実施検討、パンフィコ横浜の拡充、子ども子育て関連3法に伴う施策、公共建築物の木造化、在宅医療連携拠点モデル事業などです。2020年東京オリンピックの招致活動も昨年横浜市会で招致決議しましたが、日本再生の明るい話題として応援したいと思います。少子高齢化がさらに進む状況の中、医療、介護などの社会保障は我が国の経済が再生し、税収が増えなければ成り立ちません。地方自治体としても雇用、景気対策、中小企業振興策などやらなければならない施策は山ほどあります。

ところで、以前一度だけお話しさせていただいた前観光庁長官の溝畑宏さんの講演録のあるホームページ読みました。感銘を受けましたのでご紹介させていただきます。(以下引用)

父からは「自助自立」、母からは「元気で明るさで目立つ」を受け継いだ。亡き父は、気骨ある男だった。学徒出陣で自ら志願しシベリアに行った。戦死した同僚たちのためにも絶対に日本を変えなくてはと思い、「数学から日本を変える」と自費でフランス留学をし、京都大学の数学の教授となった。父は「地球儀」を見せながら子供たちに言っていた。「世界の大きな舞台で仕事をしろ」「どんな分野でもいいから世界のトップを目指せ」「生きることは競争だ。だが競争は勝ったら負けた奴を労わる。負けたら悔しく思い、勝った奴を褒める。」「失敗してもそれが成功につながる、この繰り返しだ」。口癖は「自助自立」「言い訳するな」「泣き言いうな」。不平不満を言うと、一本背負いで、投げ飛ばされた。亡き母からは、目立つことが大事だと、徹底的に教え込まれた。小児ぜんそくで、体が弱くて、下を向いている宏少年に、「宏ちゃん、一回しかない人生、目立って、目立って目立ちまくれ」「目立つといじめられるかもしれないが、せつたいそのほうが早く転換できる」と言い続けた。元気で、明るく、なんでも言い合い、認め合う。そういう社会を作りたい。まずは自分自身やれることからやろう、これが私の人生だ。

私も、以前から掲げている「ポジティブ横浜！」で今年もがんばりたいと思います。今年5月定例会、6月にアフリカ開発会議、7月に参議院選挙、8月に横浜市長選挙があり、何かと慌ただしい毎日が続きます。しかし、そんな時だからこそ、じっくりと横浜と日本の将来のための政策を考え行動したいと思います。

寒い毎日が続いておりますが、お身体を大切にしてください。皆様のご健勝を心よりお祈り致します。

横浜市議員 古川 直季

古川なおきプロフィール

県立希望ヶ丘高校・明治大学 卒業/明治大学公共政策大学院 修了
横浜銀行勤務後、衆議院議員秘書
平成7年4月 横浜市議員初当選(26才最年少)
現在 平成24年 温暖化対策・環境創造・資源循環委員会副委員長
新市庁舎に関する調査特別委員会
自民党横浜市議員団所属/横浜市FCキャプテン
希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会 理事
旭区サッカー協会顧問/旭区スポーツダンス協会顧問
旭区卓球協会顧問/旭区食品衛生協会顧問



横浜市コールセンター
045-664-2525

年中無休

午前8時～午後9時
(土日祝日を含む毎日)

多言語でも対応しています。

＜対応言語＞ 中国語・スペイン語・英語
月～金曜 10:30～11:30、12:30～16:30
第2・4土曜 10:00～12:30 休日・年末年始を除く

25年度予算のポイント

25年度は「中期4か年計画」の最終年度であることから計画の総仕上げに全力で取り組むとともに、依然として厳しい社会経済状況を踏まえ、直面する課題に向き合います。また、少子高齢化など社会の変化を新たな飛躍のチャンスと捉え、将来を見据えた投資、成長力強化の視点から、市民生活の安全・安心や都市の活性化につながる「4つの重点取組」をしっかりと進めます。

重点取組1：市民の生命と暮らしを守る

減災に挑む……建物の耐震化
 自助・共助の取組の推進
 緊急輸送路ネットワークの構築など
 暮らしを支える……100万人の健康づくりの推進
 自立支援（ハローワークと連携した就労支援）
 障害児・障害者支援
 医療環境を整える……産科・周産期医療の充実
 在宅医療連携拠点モデル事業

重点取組2：未来を拓く、子どもを育む

学齢期までの子育てをサポートする
 ……地方版子ども・子育て会議の開催
 横浜保育室・放課後児童クラブの新制度移行支援
 保育所持機児童解消
 個性や能力を伸ばす……学校司書の配置
 魅力ある高校づくり
 私立中学校昼食の実施
 （望ましい中学校給食の検討など）
 子どもを守る……いじめ根絶に向けた対応
 （カウンセラー派遣の充実など）
 児童支援体制の強化（児童支援専任教諭の配置）
 児童虐待対策

4つの重点取組を推進していくためにも、不断の行財政改革や、将来を見据えた財政規律を重視した市債発行などの財政の健全化に取り組むとともに、新たな大都市制度の実現に向けた取組を進めていきます。

重点取組3：横浜の魅力で飛躍する

中小企業をバックアップする
 ……中小企業支援（事業承継・M&A助成、商店街支援など）
 ベンチャー企業支援
 （企業家育成のためのビジネスプランの応援）
 海外展開支援
 特区活用で成長を促す……国際戦略総合特区の推進
 将来を見据えた経済対策の検討
 文化芸術・観光・MICEで魅力を発信する
 ……第5回アフリカ開発会議横浜開催
 世界遺産登録の活用（世界遺産登録候補「称名寺」）
 文化芸術・スポーツ振興による賑わい創出
 （市民参加型フルマソンの検討調査）
 女性の力を生かす……ビジネスプランの応援（女性企業家枠設置）
 働く女性応援プログラム
 育児と仕事の両立応援

重点取組4：次世代に向けて再生する

都市を再生する……都心臨海部再生マスタープラン（仮称）検討
 関内・関外地区の活性化
 みなとみらい2050プロジェクト
 都市基盤の整備など
 次世代の環境対策を進める
 ……横浜スマートシティプロジェクトの推進
 横浜みどりアップの推進
 都市農業の推進（地産地消の推進・食と農の連携など）

<不断の行財政改革の推進>

1. 厳しい財政状況の中、人件費削減など不断の行財政改革を推進する
 ……25年度削減額 約102億円（住宅手当の廃止、職員定数の削減、外郭団体への財政支援等の見直しなど）
 市債発行額は対前年比5%減を基本に、防災・減災事業に必要な市債だけを上乘せして発行
2. 新たな大都市制度の実現に向け、取組を推進する……二重行政の解消に向けた県との協議を実施するなど

※参考：横浜市ホームページ

★地域のお悩み解決隊★☆政務調査員・塚本☆による報告

File 1：道路編

ご相談いただいた道路は道幅7mほどのセンターラインのない道路なのですが、保土ヶ谷バイパス下川井インターへの裏道として通行量が多く、実際に何度か事故が起きているため安全対策をして欲しい、ということで調査を行いました。

実際に現地を見てみると、センターラインが無くカーブしており、さらにカーブの手前と奥で高低差があることから対向車が見えづらく、また十分に減速しないままカーブに侵入してくる車が多いことがわかりました。

早速、旭土木事務所と協議し、道路の中心線付近に点線のガイドラインを引いてもらいました。この点線はガイドラインとしての役割だけでなく道路の幅が実際より狭いような感覚を運転者に持たせ、スピードを落とさせる効果があるそうです。ライン施工から1年、地域の皆様からも「走りやすく安心して通れるようになった」との声をいただいております。

市の財政は厳しい状況が続いていますが、これからも限られた予算で市民生活の向上を図れるよう努めて参ります。

▼安心が増した道路



地域のことに関するご意見ご相談はお気軽にどうぞ。
 古川事務所電話045-391-4000



お気軽にご連絡ください。

FAX: 045-366-9700 / TEL: 391-4000

E-Mail: naoki@furukawa2002.com

みなさまのご意見をお待ちしています!

古川なおき政務調査事務所

〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘199-1

E-mail: jimu@furukawa2002.com

